道 徳 学 習 指 導 案

令和５年１０月３１日（水）第５校時
第１学年２組　（於：１年２組教室）
指 導 者Ｔ１　塩 尻 は る な
Ｔ２　原 智 津 子

１　主題名　弱さの克服　　内容項目　Dー（２２）
　人間には自らの弱さや醜さを克服する力や気高く生きようとする心があることを理解し、人間としての生きる喜びを見出す。

２　資料名　「いつわりのバイオリン」（出典：中学生の道徳「自分を見つめる」）

３　主題設定の理由
○　本資料は、バイオリンづくりの職人である主人公のフランクが、弟子のロビンが作った作品を自分のものと称して著名な演出家に提供してしまうことが題材となっている。ロビンは彼を責めることはしなかったが、フランクは自らの行為を悔い、良心の呵責に苦しむ。その姿を通して、自分自身を振り返りながら、人間の心を深く見つめていく資料である。生徒が自分の心の中の弱さと向き合い、自分に恥じない生き方、人間としての誇りある生き方に近づいてほしいと願いこの主題を設定した。

○　本学級は、明るく元気で活発な生徒が多く、授業の発表等も積極的に行っている。また周囲の様子がよく見えて、困っている友人がいると進んで手助けする生徒も多い。一方で、なかなか自分に自信が持てず、劣等感にさいなまれる生徒や、注意や指導を受けると、落ち込んでより消極的な態度になる生徒も少なくない。実際に、悪いと分かっていながらも、宿題を自分の力で解かずに解答を見たり、友人の答えを写す生徒もいる。フランクの気持ちを理解し、共感したり、考えたりすることで、人間には心の弱さや気高さがあることを気づかせたい。

○　指導にあたってはどんな人にも欠点や弱点があり、人間は心の中に弱さや醜さを持つことを、事前のアンケートを紹介しながら伝えたい。その上でフランクの心の揺れを通して、人間は欲を自制できなかったり、良くないと分かっていながらも易きに流されたりすることがあることにも重ねて気づかせたい。そして、悪いことをしたら正直に謝ることが大切だという認識のみにとどまらないように留意したい。フランクが自分の犯した過ちにより自分を責め、苦しみ、克服していく心の動きから、人間には弱さや醜さがあるが、それを乗り越えようとする気高さや強さもあることを感じさせたい。更に、生徒一人一人が持っている心の美しさに揺さぶりをかけ、誇りある生き方ができるよう指導したい。

４　ねらい
　ロビンからの手紙に涙をこぼすフランクの心情について考えることを通して、誰もが持っている人間らしい良さを
認め、弱さに負けず自分に恥じない生き方を見出そうとする道徳的心情を育む。

５　人権教育の視点　　３ー（１）ーイ
　人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとするたくましい心があることを理解し、人間として生きることに喜びを見出だす。

６　展開

学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点（支援◇評価□）
１　これまでの自分の体験を出し合う。	○自分の心の弱さに負けて、してしまった行動がありますか。 ・電車でお年寄りが立っていたのに、席を譲らず寝たふりをした。 ・仮病で体育の授業を休んでしまった。	◇事前のアンケートから集約した生徒の体験談を教師が紹介する。（T1）
２　教材を読み、登場人物押さえた後に、フランクの心の揺れ動きを辿る。	○悩み抜いた末に、フランクはどのような気持ちでバイオリンづくりを引き受ける決断をしたのだろう。 ・時間がないが、成功すれば有名になる。 ・このチャンスは逃したくない。 ・自分の夢が叶うかもしれない。	◇フランクの心の揺れに沿いながら、あらすじを理解させる。（T1） ・「十分に時間がないとわかっていた」ことを押さえた上で、それでも引き受けた動機について考えるよう促す。（T2）
	○フランクはどのような気持ちでロビンのバイオリンのラベルを貼り替えたのだろう。 ・これで約束は守れる。 ・やってはいけないとわかっているが、仕方がない。 ・ロビンごめん･･･。	・フランクの内なる良心や、心中の葛藤についての理解を促す。（T2） ◇ロビンに対する謝罪の気持ちや後悔の気持ち、さらになくしていた誠実な気持ちを取り戻したことに気づけるように助言をする。（T１）
３　ペアや班によって、考えを深める。	◎手紙を読み終えたフランクは、どのような思いで涙を流しただろう。 ・ロビンは何もかも分かっているのに、どうして私を責めないのだろう。 ・ロビンはなんて優しいのだろう。 ・自分が恥ずかしくてたまらない。 〈補助発問〉 ☆フランクがしたことは悪いことなのだろうか。 ☆フランクは今後どのような生き方をするのだろうか。	◇フランクの涙の意味を追求することで、今後の自分たちの生き方について考えさせるきっかけをつくる。（T2）
４　人間の持つ心について考える。	○人間はどのような一面をもっているのだろう。　また、どのような力をもっているのだろう。 ・弱さや醜さ。 ・悪いと分かっていても、欲に負ける。 ・弱さを乗り越えて、より良く生きる力。	□人間は誰しもが弱い一面をもっているが、それを克服する力ももっていることに気づく。
５　本時の感想を書く。		

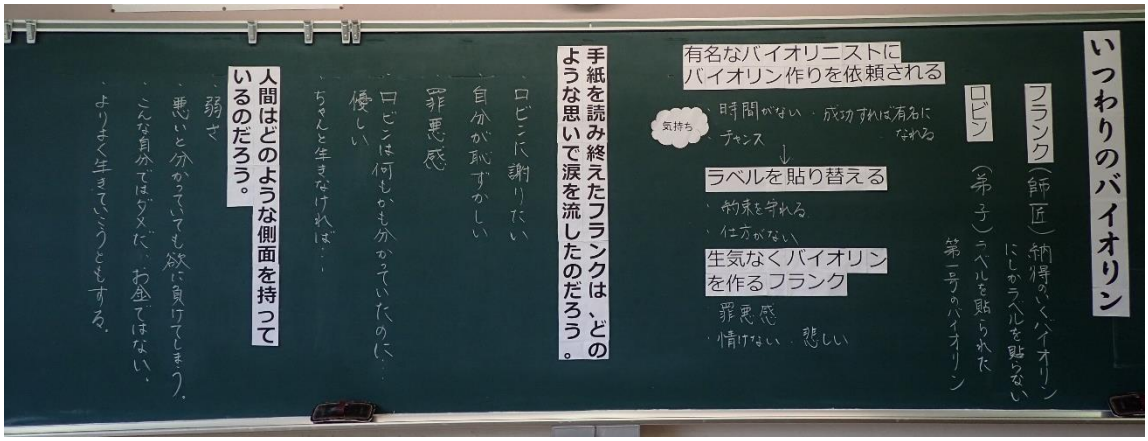
〈板書〉

〈生徒の感想〉

〇自分の心の弱さに負けることは誰でもあることだけど、心の弱さに負けないように自分の力で成し遂げたい。

〇私は今日の授業をして、これから自分に恥じない生き方をしたいと思いました。そのためには、欲望に負けない自分になり、強い心をもって悔いのないようやっていきたいです。そして、人の前で堂々と立てる人になりたいです。

９　学習を終えて

本授業では主人公フランクの心情を考えることを通して、自分の弱さを誰しもが認めた上で、どのように向き合い、乗り越えていくかを生徒自身が気付くことができた。自分の理想の生き方、人間としての誇りのある生き方を考えさせることができたのではないかと思う。

また、ペア、班との意見交流の時間を設けることで、相手の意見を聞き、自分の考えをより深めることができた。しかし、班では意見を交流することができても、クラス全体では発表する生徒が少ないことが今後の課題である。どの授業でも意見交流の機会を設け、自分の意見に自信をもてる生徒を増やしていきたい。